

経営に関する最新情報をお届けします！

# 経営トピックス

Management topics



## キャッシュレスの導入

### 飲食店・小売店の取り組み方

町田市経営診断協会 野村 篤志 (中小企業診断士)

実施するキャッシュレス・消費者還元事業があります。

#### キャッシュレス化の

#### メリットとデメリット

事業の説明の前に、キャッシュレス化のメリットを整理します。

- **消費者のメリット**
- ① 手ぶらで簡単に買い物が可能
- ② ポイント還元によるお得感
- ③ 利用履歴情報で管理が容易
- ④ カード紛失・盗難時の被害リスクが低い(条件次第で全額保証)
- **お店のメリット**
- ① 人手不足対策(レジ締め・現金取り扱ひ時間の短縮)
- ② 従業員による売上金紛失・盗難のトラブル減少
- ③ 現金の搬出入回数の減少
- ④ 従業員が紙幣・通貨に触れないので衛生的
- ⑤ 訪日外国人の54%がクレジットカードを利用し、インバウンド需要の取り込みが可能
- ⑥ 個人情報や蓄積・活用したマーケティングが可能

- **政府のメリット**
- ① 現金発行・流通・管理コストの削減
- ② デジタル化による犯罪・脱税抑止

このようなメリットがあるのですが、キャッシュレス化が普及しない背景やデメリットがあります。

#### ● 社会情勢

- ① 盗難の少なさや、現金を落としても

返ってくると言われる「治安の良さ」

② きれいな紙幣と偽札の流通が少なく

「現金に対する高い信頼」

③ ATMの利便性が高く「現金の入手が容易」

● **消費者のデメリット**

① 使いすぎなどの各種不安

② 使用可能店舗の限定

● **お店のデメリット**

① 端末導入コストが発生し、端末設置のスペースも必要

② 現金支払では発生しない手数料

③ 現金支払では発生しないオペレーション負担(紙の売上票等の手交)

④ 資金化までのタイムラグによる資金

繰りの悪化

#### キャッシュレス・消費者還元事業

今年10月の消費税率引き上げによる消費の落ち込み緩和とキャッシュレス普及のため、中小・小規模事業者の店舗のキャッシュレス化を支援します。

#### ● 制度概要

10月1日以降、対象店舗でキャッシュレス支払いをした消費者にはポイント還元します。また、対象店舗に對して、キャッシュレス決済の導入を支援します。

#### ● 実施期間

2019年10月1日から2020年

6月30日までの期間となります。

#### ● 事業登録のメリット

① 今なら端末導入のご負担なし！

端末本体と設置費用などが無料とな

ります。(軽減税率対策補助金の端末支援もありますので、あわせて比較・検討ください。)

② 決済手数料3・25%以下！

さらに実施期間中は、国がその1/3を補助します。

③ 消費者還元で集客UP！

④ レジ締め・現金取扱いコストを省いて業務効率化！

#### ● 具体的な導入方法

決済事業者がキャッシュレス決済プランを順次発表し掲載されます。その中から中小・小規模事業者がプランを選択して決済事業者に申し込みます。具体的な登録までの手順を示します。

【手順1】店舗が本制度の対象となるか確認します。(条件や還元率が異なります。)

【手順2】店舗の現在のキャッシュレス決済対応状況を確認します。

【手順3①】今使っている決済手段で継続して参加したい場合は、現在契約している決済事業者が登録しているかを確認し、リストに記載の電話番号に連絡します。

【手順3②】新規の導入やプランの見直しの場合は、公表されているプランから、店舗に合った決済事業者を選び、リストに記載の電話番号に連絡します。

本事業の登録は決済事業者が代行して申請しますので、中小・小規模事業者の皆さんのご負担はありません。早めのご検討をお勧めします。

飲食店や小売店は、来店されるお客様の年齢層や商品構成がマチマチなため、キャッシュレス対応を積極的に進めているお店もあれば、現金のみのお店もあるのが現実の状況です。  
国外に目を向けると、中国や韓国のようにキャッシュレス化が進んでいる国もある中、日本のキャッシュレス化は約20%にとどまっています。政府は、来年の東京オリンピック開催にあたり、キャッシュレスに慣れた訪日外国人がお店での支払いに戸惑わないように、中小・小規模の飲食店や小売店のキャッシュレス化を促進しようとしています。

その1つの支援策として、今年10月の消費税率引上げ後の一定期間に限り